

江差の商業

2019.11.6 対鷗館

No	項目	意見内容	意見に対する回答
1	将来に向けての課題	商人はものを作ることができない。江差には商品がないため、商品を作る人材の確保と商品開発(加工)するための施設を設けてほしい。 まなびっくなどに作る場所はあるが、保存するもの(大きい冷蔵庫など)がない。	
2	町の取り組み	利益にどう繋げるかが課題で、アイデアを活かすために、町や振興局で資金調達や、技術的な面で支援いただきたい。 加工の仕方、PRの協力などお願いしたい。また、行政で相談できる窓口を増やしてほしい。	
3	将来に向けての課題	新しいメニューの考案の際に試作品として販売したいが、許可が必要のため、中々容易ではない。また、そういった施設もない。 町で各店舗の試作品を仮販売する場を提供してほしい。	ニシンには古くから江差を作ったというストーリーのある食材なので、それをいかに波及させていくかということが大切。
4	町の取り組み	今は食材を真空パックで冷凍している。しかし大量に保存できるものや施設もない。 冷蔵庫などは10年～15年で使えなくなり、良い設備を整えていくにはお金も必要となる。町にバックアップを期待したい。	
5	町の取り組み	江差のニシンについて町民にまず知ってもらい、町民になじんでもらえるようにならないといけない。役場としてもニシンを町民に獲れていることや売っていることなど身近なことからもっと周知・普及すべきだと考える。	地域の食材ということを町民の方に認識いただいて、それを外の人に発信する必要がある。

No	項目	意見内容	意見に対する回答
6	町の取り組み	今の若い方はニシンについて、いつ獲れるのか、どういった魚なのかを知らない。だから今の食卓にニシンがあがることはない。観光客に提供もいいが、まずは町民に浸透できるような取り組みに期待したい。	
7	町の取り組み	ニシンは骨が多く難しい食材。ニシンには中々手をだせない。こういったことを含めて技術開発していけるような体制をとってほしい。	
8		商業分野の方がどういった施設がほしいのか、どんな効果が得られるのかなどを協議したうえで相談に乗っていきたい。 また、函館市の商品開発や加工技術の知識を持った方を講師にみなさんでアイデアを出し合って新たなものつくっていく場をつくる必要があると考える。	
9	将来に向けての課題	高齢化が進んでいって設備投資は厳しいと考える。	町には宿泊施設の改修に対する補助制度があり、効果も十分にある。こういったような制度を商店などにも使えるよう考えていかなければならない。
10	将来に向けての課題	みんなで協力して話し合ったり技術を出し合う場を行政が設定するとい い。 外部の方を呼ぶのもいいし、町内商店だけでもみんなで意見を出し合え ばいいものができると思う。	
11	町の取り組み	買い物に困っているとよく聞く。 愛宕商店街は色んな商店があってみんなそれぞれが頑張ってる江差で唯 一何でもそろっている場所。必ず維持存続させなければならない。 みんなで賑わいを保てるよう努力はするが、町にもいろんな面で協力 をお願いしたい。	高齢化社会の中で買い物しやすい環境づくり、交通手段が課題である。 ことから、買い物しやすいなどの良い環境づくりをしっかりと考えていき たい。 その他の地域でも買い物困難を改善できるよう買い物バスなどいろんな 手段を考えていく必要があると強く感じている。

No	項目	意見内容	意見に対する回答
12	町の取り組み	今までの考え方ではいけないと思う。新しい取り組みを考えていきたい。買い物するための商店街ではなく、来て楽しい商店街とすることを考えている。町としても、来て楽しいまちづくりを進めていってほしい。	子どもがはしゃいでいる姿が見られることが楽しいと感じると思う。商店街のみなさんに提案したいのは、「歩行者天国」の実現。常にではなく一時的にやることで賑わいにつながると感じている。みなさんと十分に話していきたい。
13	将来に向けての課題	高齢者は特に人としゃべりたい。しかしそういった場がない。	
14	将来に向けての課題	商店街で行うイベントも大きく開催すると、人手も必要だし、商店には利益が出ない。小さく開催する方が利益につながると考える。	商店はイベントをやることより、いかに利益につなげていくのかということが大事なので、イベントに負担を感じているのであれば開催方法も変えていかなければならない。
15		商工会では商品開発のサポートメニューが色々あるので相談していただければ、商工会として出来ることはサポートする。	
16	将来に向けての課題	どの店にも共通して後継者がいないことが一番の問題。後継者がいないから未来への投資ができない。このことから、後継者が戻ってきやすい環境を整える必要がある。各商店街でテーマを持って活動していかなければならない。	行政だけで考えるのではなく、皆さんと一緒に気持ちを同じくして地域振興を考えていきたい。
17	将来に向けての課題	これからの後継者問題は深刻。	商店街の拠点化を考えている。上町、下町に商店街の集約化・拠点化をどうやって実現していくか皆さんからも意見をいただいて進めていきたい。
18	町の取り組み	商業だけでなく、町として楽しいまちづくりをしていくことに期待したい。	楽しいまちではあるが、その楽しさが経済につながっていないことが問題だと思っている。今後の大きな課題と思って取り組んでいきたい。
19	町の取り組み	拠点化について上町商店街では全てが買える環境がないため、そういった環境をしっかりと整えていただきたい。	拠点となる商店街には、何が最低限必要なのか、行政として何ができるのかなどをしっかりと見極めていきたい。その手立てをこの5年間で考えていきたい。